

GOD WITH US

Part 10: EARLY LETTERS

Messages 21 – Ephesians

Spiritual Blessings in Christ

Ephesians 1

神はわれらと共に

パート 10：初期の手紙

第 21 メッセージ – エペソ人

キリストによる霊的祝福

エペソ人への手紙第 1 章

はじめに

キリストこそが約束されたユダヤ人のメシアであり、世界の神であり、救い主であると証言したために、パウロは、ローマで何年も獄中生活を送りました。そこで獄中書簡を記しました：エペソ人への手紙、コロサイ人への手紙、ピリピ人への手紙、ピレモンへの手紙。エペソは、ローマ帝国の中で 3 番目に大きな都市であり、最も豊かな地域である小アジアの主要都市でした。商業、観光の中心であり、宗教的思想活動の中心でした。使徒の働き第 19 章では、エペソでのパウロによる力強い働きについて読みました。使徒の働き第 19 章 11,12 節では、パウロを通して、神は並外れた奇跡を起こされ、説教し、訓戒し、病人や悪霊に取りつかれた人々を癒したと記されています。使徒行伝第 20 章 31 節から、パウロ

は、エペソで 3 年間過ごしたことがわかります。エペソでの滞在は、その地域においての伝道による影響が大きかったために、他のどの都市よりも長い滞在となりました。エペソに植えられた教会、エペソ、コロサイ、フィラデルフィア、ラオディキア、スマーナ、サルデイス、ペルガモンに福音を広めました。ギリシャの女神アルテミス（ディアナ）の宗教は、エペソを中心としていました（他の 50 の宗教が活発な中）。アルテミスの崇拜者は、世界中から、古代世界の七不思議の 1 つであるアルテミス神殿を訪れました。霊的支配者大女神アルテミスとその神殿の銀の複製が熱心な巡礼者や観光客に売られていました。エペソは、当時の異教崇拜とオカルト（魔術）崇拜の中心地でもありました。キリストによる救いのメッセージを伝えるのに重要な場所ではありましたが、同時に、最も困難な場所でもありました。そこで福音を広めることに多くの成功を取めた後、銀細工の土産販売に依存していた者たちの産業を破壊していると抗議し、銀細工職人の組合が暴動を起こしたため、パウロはそこを去ることを余儀なくされました。

エペソの若い信者たちに宛てたパウロの手紙には、イエス・キリストを信じる者たちの特権と力についての高尚で詳細な説明が記されています。これはイエス・キリストの信者に重要な真理：神の永遠のご計画、キリストを信じることに続く祝福、聖なる神の御前のすべての人類の状態、日々聖霊

に降伏する人の人生における聖霊の力について教える重要な内容でした（今日に至るまで重要です）。

この手紙には、信者が自分の祈りの中で用いることができる賛美と力強い祈りの例も含まれています。

使徒の働き第 19、20 章とエペソ人への手紙は、パウロのキリストに対する深い知識と献身と情熱（神の永遠の御子であるイエス・キリストがギリシャの神々、哲学、その他の世界の宗教といかに異なるかを理解してほしいと願うパウロの全世界への情熱）を理解するのに役立ちます。パウロはまた、キリストの救いの計画と、キリストと聖霊の力を毎日楽しむ方法も説明します。

今回の解説では、エペソ人への手紙の第 1 章に焦点を当てます。

キリストにある霊的な祝福：1：1-14

パウロは第 1 章のほとんどを、キリストの働きを通して信者にもたらされる祝福の長いリストを挙げることに費やしています。この冒頭で、「祝福された」という言葉を 3 回使用したことに注目してください。

1:3 ほむべきかな、わたしたちの主イエス・キリストの父なる神。神はキリストにあって、天上で霊のもろもろの祝福をもって、わたしたちを祝福し、（エペソ人 1：3）

1. 神の御前にきよく傷のない者とされるために選ばれた者

1:4 みまえにきよく傷のない者となるようにと、天地の造られる前から、キリストにあってわたしたちを選び、
（エペソ人 1：4）

私たちは、神の主権と人間側の責任との間の緊迫について議論しました（ローマ 9-11）。ここでは、世界が始まる前に成された神主権の選択に重点が置かれています。神は人々をご自身に引き寄せ、神の目に「聖なる、非のない」者にしてくださることを意図されました。ここでの「聖なる」という言葉は、他の箇所でも「聖人」（または「真の信者」）と訳されているギリシャ語と同じです。簡単に言えば、神は罪人を聖人に変える決心をされたということです。

あなたがキリスト信者であるなら、神の目に「聖く、非がない」のです。そのように感じられないかもしれませんが、これは神のみ前のあなたの真の立場です。地上での生活は、古い罪の性質と闘っているときでさえ、この真の立場を生き抜く機会です。天国に着くと、私たちを完成してくださる神の働きが完了するので、闘争は終わります。今は神の子どもたちが真の召しを果たす生活を送るときです。

「非のない」というのは信じがたい真実です。なぜなら、人間の領域では、皆、他人を非難し、他人から非難されているからです。しかし、もし私たちがすべての恥と非を代わりに

負ってくださったイエス・キリストに信仰を置いたなら…、私たちの身代わりとして「非のないお方」として、その聖なる天の御父によって裁かれたイエス・キリストに信仰を置いたなら…、驚くべきことに、天の父なる神は信じる者を「非のない」者と宣言してくださいます。

2. 神の御心によって養子とされた

1:5 わたしたちに、イエス・キリストによって神の子たる身分を授けるようにと、御旨のよしとするところに従い、愛のうちにあらかじめ決めて下さったのである。（エペソ 1：5）

エペソには、望まない幼児を死ぬまで放置するために山積みで捨てられた場所がありました。時々、奴隷商人がやって来て、奴隷として育てられるために捨てられた幼児を拾いました。パウロはエペソ人に言います：「神は、私たちが奴隷にするためではなく、養子としてくださるために来られました。」。神ご自身の御心によって、私たちが養子とされ、家に連れて帰り、育み、真の子と同様に完全な権利を授けてくださいます。私たちの養子縁組を可能にするのは、キリストのご人格と働きです。

3. 惜しみなく祝福であふれさせてくださる

この部分は、ギリシャ語から一言一句翻訳する価値があります。

1:6 これは、その愛する御子によって賜った栄光ある恵みを、わたしたちがほめたたえるためである。（エペソ人 1：6）

1:8 神はその恵みをさらに増し加えて、あらゆる知恵と悟りとをわたしたちに賜わり、（エペソ 1：8）

神は惜しみなく祝福であふれさせてくださいます。神は、惜しみない恵みで圧倒してくださいます。恵みとは、神がそれにふさわしくない者に、それに値しないものに何かを与えられることです。この書物の後に、驚くべき恵みの箇所があります。

2:8 あなたがたの救われたのは、実に、恵みにより、信仰によるのである。それは、あなたがた自身から出たものではなく、神の賜物である。**2:9** 決して行いによるのではない。それは、だれも誇ることがないためなのである。

（エペソ人 2：8，9）

恵みは新約聖書の最も中心的なキリスト教真理です。神は罪を犯した罪人をキリストによって、神のあふれる恵みに完全に浸してくださいます。恵みに恵まれた日々を送ることは祝福です。神の驚くべき恵みに匹敵する罪はありません。事実、キリスト教が世界の他のあらゆる宗教や哲学と異なるものとするのは神の恵みの概念です。

通常、恵みを与えるのが最も難しいのは自分自身です。

なぜなら、自分の弱点や失敗を誰よりもよく知っているからです（神を除いて）。したがって、恵みを受ける技を学ぶことが重要です！神があなたを咎められないのなら、なぜ自主的に非難し続けて生きなければならないのでしょうか？神があなたを赦してくださいましたように（エペソ 4:32）、神があなたに他の人を赦すように命じられたように、あなたも、あなた自身を赦すべきです。

「グレイスストレーション」と呼ばれるオークポイント教会での女性の聖書研究で神の恵みの回復について学ばれた方は、「私に恵みを！そして、あなたに恵みを！」と言えるようになるでしょう。皆、この自責の念から解き放ってくれる表現を用いることが可能です。

4. 贖われて解放された

「1:7 わたしたちは、御子にあって、神の豊かな恵みのゆえに、その血によるあがない、すなわち、罪過のゆるしを受けたのである。」（エペソ人 1:7）。

ローマ帝国には約 600 万人の奴隷がいました。多くのキリスト者は、奴隷であるか、または元奴隷であったかのどちらかであったので、この成句に共感したに違いありません。新約聖書では、「贖い」のために用いられたいくつもの同義語がありました。ここで用いられている用語は、「買い取られた後に解放される」ことを意味します。身代金を払い、奴隷

を市場から連れ出し、自由に解放するという考えでした。奴隷たちは古い束縛、古い人生から完全に解放され、新しい生活を自由に生きることができます。まさに神が私たちのためにしてくださいましたことです。

私たちの身代金を払ってください、罪の束縛からの自由を確保するために支払われた代償は何でしたか？「キリストの血による贖い」です。これがキリストの十字架が私たちの信仰の要である理由です。十字架上で流されたキリストの血は贖いの代価の支払いでした。「命と引き換えの命」は、デンゼル・ワシントン主演の映画「マン・オン・ファイア」で少女の身代金について語った名ゼリフでした。

5. 赦された！

「1:7 わたしたちは、御子にあって、神の豊かな恵みのゆえに、その血によるあがない、すなわち、罪過のゆるしを受けたのである。1:8 神はその恵みをさらに増し加えて、あらゆる知恵と悟りとをわたしたちに賜わり、」（エペソ人 1:7、8）。

「罪過」とは、神の法を破ることによって神が定められた境界を越えることです。ここでの「赦し」という言葉は、文字通り「取り上げて送り返す」という意味です。私の罪過は、神が私に惜しみなく注ぎ出してくださいます神の恵みの豊かさに応じて、取り上げられ、運び去られ、赦されました。神は、

私の罪過をどこに運んでいかれたのでしょうか？おそらく詩篇 103 篇がその答えです：

103:12 東が西から遠いように、主はわれらのとがをわれらから遠ざけられる。（詩篇 103：12）

あなたのすべての違反（過去、現在、未来）は完全に許されています。キリストを通して、それらはすべて神の記録から削除されました。失敗と罪悪感という絶え間ない重荷を抱えて生きる必要はありません。それらを十字架の元に置き、完全にあなたのものである赦しを受け取ることができ、前進することができるのです。第 1 ヨハネ 1 章 8-10 節は、神の愛に照らされて歩むときでも、私たちは「罪」を冒してしまうことを覚えておく必要があると教えています。神の命令は、私たち自身や神や罪を犯してしまった人たちに認め、告白することです。しかし、「キリストにあって、完全に赦されている」ということを知ることは、真の「驚くべき恵み」です。それだけでなく、あなた自身が赦されているので、あなたを怒らせる他の人々にも同じ赦しの恵みを与えることができます。それは良い生き方です。赦していただいたので赦します。赦しは神からの大きな祝福です。

6. 神の全体的なご計画に目覚める

1:9 御旨の奥義を、自らあらかじめ定められた計画に従って、わたしたちに示して下さったのである。**1:10** それは、時の満

ちるに及んで実現されるご計画にほかならない。それによって、神は天にあるもの地にあるものを、ことごとく、キリストにあって一つに帰せしめようとされたのである。（エペソ 1：9，10）

これは複雑な部分ですが、重要な着想に焦点を当てましょう。「神は私たちに、神の御心の謎を明らかにしてくださいました。」パウロは、私たちが信者として、人類のための神の壮大な救いのご計画への洞察を与えられたと言っています。私たちは人類の歴史が何を意味するのか、私たちの場所が何であるのか、そして物語がどのように終わるのかについての真の知識を持つ「内部者」です。私たちは、History（歴史）が「His-story（彼の物語）」であることを知っています。世界に対する神のご計画はすべて、キリストの中心性を要に展開しています。

私は、神のご計画を知るという点で「内部者」であるだけでなく、物語の中で果たすべき役割があることを知っています。第 2 章でパウロは、次のように書いています。「**2:10** わたしたちは神の作品であって、良い行いをするように、キリスト・イエスにあって造られたのである。神は、わたしたちが、良い行いをして日を過ごすようにと、あらかじめ備えて下さったのである。」神はすでにあなたを用いたご計画をもっておられます。神があなたを用いて準備されているご計画に、加わり、導いていただくように求めておられるでしょうか？物語の中で、ユニークな時と

人生の段階において前進するとき、神があなたを導いてくださることを信頼して、加わって奉仕する方法を是非見つけてください。

7. 神の相続財産を受け継ぐものとされた

1:11 わたしたちは、御旨の欲するままにすべての事をなさるかたの目的の下に、キリストにあってあらかじめ定められ、神の民として選ばれたのである（エペソ人1：11）

エペソ人への手紙の中で、パウロは、私たちの御国の相続について4回言及しています。他の箇所でも、パウロは私たちがいかにキリストと相続人であるかについて語っています。

「**8:16** 御霊みずから、わたしたちの霊と共に、わたしたちが神の子であることをあかしして下さる。**8:17** もし子であれば、相続人でもある。神の相続人であって、キリストと栄光を共にするために苦難をも共にしている以上、キリストと共同の相続人なのである。」（ローマ8：16,17）。神秘的な方法で、私たち信者は、父が御子イエスに与えた相続を分け与えてくださいます。息子の相続とは何でしょうか？それは創造された天地のすべてです。聖書によれば、「これら小さいものは、御子によって造られ、御子のために造られたのである。（コロサイ1:16）」とあります。神は御子を万物の相続者と定められました（ヘブル1：2）。イエスご自身がこう言われました：「**3:35** 父は御子を愛して、万物をその手に

お与えになった。」（ヨハネ3:35）。ですから、私たちは神の子として、私たちの相続はすべての被造物のイエス様の所有権と結びついているという事実をどうにかして理解しなければなりません！ペテロは、初めての手紙で、この相続の性質について記しています。

1:4 みまえにきよく傷のない者となるようにと、天地の造られる前から、キリストにあってわたしたちを選び、
（エペソ1：4）

ほとんどの人は、この世で多くの富を蓄積しません。この地上に富を積み上げることができるのはごくわずかです。しかし、イエス様は、真に豊かな人は、地上に宝をたくわえる人ではなく、天に、宝をたくわえる人であると言われました。（マタイ6：19-21）。いつでもキリストに心の玉座に座っていただくとき、いつでも時間、才能、宝を用いてキリストに仕え、敬うとき、いつでもこの世の報酬を明け渡し、来る世の報酬を得るとき、あなたは真の遺産の光の内に生きています。それこそがすべてです！

8. 聖霊によって証印をおされた

1:13 あなたがたもまた、キリストにあって、真理の言葉、すなわち、あなたがたの救の福音を聞き、また、彼を信じた結果、約束された聖霊の証印をおされたのである。

（エペソ人1：13）

これが人間の側からの過程です：あなたはメッセージを聞き、メッセージを信じ、そして約束の御霊によって証印をおされます。神があなたをお選びになります（4節）が、あなたは神を信じるという選択をしなければなりません（13節）。そして、あなたがキリストに信仰を置いたなら、神は、あなたの内になされた神の働きを無駄になさることはありません。神はあなたに聖霊様によって保証の証印を押されます。ローマ時代、証印は保証と所有権の印でした。この証印のおかげで、信じた瞬間からキリストがあなたを家に連れて帰り、信じられないほどの遺産を受け取る日まで、あなたの救いは保証されています。

1:22 そして、万物をキリストの足の下に従わせ、彼を万物の上にかしらとして教会に与えられた。（エペソ人1：22）

非常に多くのクリスチャンは、救いを失うかもしれないという絶え間ない恐れの中で生きています。救いは、私たちの行いによってではなく、神の行いによって保証されています。神は、私たちが信じる瞬間から、私たちが正真正銘、神の子どもであることを証明し、私たちが間違いなく神の所有(もの)であることを証明する証印をおしてください。そして、神の証印を破ることはできません。キリストにあって、保証されているということは、この上ない祝福です。神の証印は神の愛の保証であると同時に、その返答として神を愛する動機でもあります。

9. 永遠に神と共にいる運命

1:14 この聖霊は、わたしたちが神の国をつぐことの保証であって、やがて神につける者が全くあがなわれ、神の栄光をほめたたえるに至るためである。（エペソ1：14）

ここでの「保証」という言葉は、もう一つの魅力的な言葉です。それは頭金のようなものです。現代ギリシャ語では、これは結婚の約束として花嫁に与えられる婚約指輪を示す言葉です。この素晴らしい祝福の学びを閉じるのに、これ以上に相応しい描写はあるでしょうか？神はあなたに婚約指輪、神の忠誠の誓約と象徴、そして神の愛の保証を与えてくださいます。私たちは救い主と共に、永遠に救い主を楽しむ運命にあります。

悟りのための祈り 1：15－22

パウロは、これらの祝福が明らかにされているように、信者たちが彼らに対する神の愛の深さを理解するようにと祈りこの章を閉じます。

1:17 どうか、わたしたちの主イエス・キリストの神、栄光の父が、知恵と啓示との霊をあなたがたに賜わって神を認めさせ、**1:18** あなたがたの心の目を明らかにして下さるように、そして、あなたがたが神に召されていていただいている望みがどんなものであるか、聖徒たちがつぐべき神の国がいかに栄光に

富んだものであるか、1:19 また、神の力強い活動によって働く力が、わたしたち信じる者にとっていかに絶大なものであるかを、あなたがたが知るに至るように、と祈っている。

(エペソ人1：17－19)

-神をより深く知ることができるように。神を「より深く」知ることは、すべての信者のためのパウロの祈りです。三位一体の神、父、御子、聖霊様を親密に知る者へと成長することは生涯を通しての旅です。あなた自身とあなたが愛している人々のために、これを求め続けてください。

-神の召によって与えられる希望。新約聖書における「希望」とは「希望的観測」ではありません。むしろ、「希望」は「将来への確かな展望」です。パウロは、人々がキリストを通して、父によって彼らのために立てられた確かな見通しを実現することを祈っています。

-信者の受け継ぐべき栄光の富。繰り返しになりますが、私たちの「相続」の理念は際立ちます。キリストの人格によって、キリストにあって、キリストを通して、与えられた富をパウロは人々に、悟ってほしいと願っています。私たちが神によって相続する真の「純資産」に気づくとき、キリストとの共同相続人として天国に待つ純資産の真の大きさを知るので、地上の純資産について、それほど心配する必要はありません。

-神の優れた力。先にも述べたように、かつてエペソは、他宗教崇拝、異宗教集配、オカルト(魔術)崇拝(敵に「力」を及ぼすために魔術師を雇うという考えを中心にした)に溢れたな場所でした。パウロは信者たちに、キリストの復活の力を生活の中で知り、体験することを望んでいます。この力は、地上の他のどんな力よりもはるかに優れています。

ディスカッションの質問

1. 第1章に記載されているすべての霊的祝福の中で、あなたにとって最も際立ったのはどれですか？なぜですか？
2. これらの祝福のすべてが「キリストの内に」私たちにもたらされるという考えの重要性について話し合しましょう。エペソ人への手紙第1章1-14節に戻って、「キリストにあって」、「キリストの内に」、「キリストを通して」という言葉が何回出てくるかを数えましょう。
3. パウロの神への賛美と、これらの多くの祝福を宣言する情熱は、あなたをどのように刺激し、動かしますか？
4. キリストとの歩みにおいて、どのように聖霊様の力を使いますか？あなたがキリストの御力に繋がっていることを確認するためにどのようなステップを踏みますか？